日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２７期・10巻　　２０２２年　　１月号　　ＮＯ．245

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行ＮＯ．１９５９
２０２１．１２．１１
富士山・二ッ塚

２０２１年度・１２月度例会資料　　２０２１、１２．０４

報告・当面の予定

１１月１３日（土）・・・御坂・王岳北尾根　５名

１２月１１日（土）・・・忘年山行＝富士山・二ッ塚　６名

１２日（月）・・・まったりハイク＝丹沢・大山　４名

１３日（火）・・・ふたご座流星群見学＝富士山　２名

２５日（土）・・・富士山・二ッ塚

２８日（火）～２９日（水）・・・冬山合宿＝唐松岳　３名

０１月０８日（土）・・・初登山＝城山～発端丈山（電車で行く山）

１６日（日）・・・県連交流ハイク＝八高山　集合１２時白光神社

２．会員だより

伊藤さん・・・元気です。ただ、８月末に旦那様がお亡くなりなりました。７６歳でした。ご冥福をお祈りいたします。来年は、ハイキングに参加予定です。

小松さん・・・元気です。６６歳になりました。まだ、仕事は続けます。初登山は参加予定です。

峰田さん・・・先日、勝又さんの店に買い物に来たとのことです。

３．事故報告

あさぎり山の会　　２０２１/１２/０５　１３；２０　７１歳・男　　全治２１日

高ドッキョウ（１１３３ｍ）から徳間峠に下山。１．５ｍの段差で掴んだ木の根が剥がれ３ｍ滑落し、右手小指を脱臼。上りで使った木の根が大丈夫と思ったが、木の根がもたなかった。

４．寄贈会報とピックアップ

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　　12 月号　　NO.295　　電子版　　P20

報告＝甘利山、帯那山、倉岳山、九重連山、鳥ノ胸山、尾瀬、村山古道、ほか。

南ア・広河原山荘が移転新築完成した。する指定管理者を募集している。

これまでの広河原山荘は１９８５年、野呂川右岸に完成したが、施設の老朽化が進んだことから、市が建て替えを決めた。緊急車両の乗り入れのし やすさなどを考慮し、広河原インフォメーションセンター南東の林道の通る左岸側へ移転した。当初は２０２０年末の完成を予定していたが、広河原に通じる林道が岩盤崩落などで通行止めとなった影響で工事が遅れていた。

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　１２月号　　NO.表記ナシ　　P13　電子版

計画＝赤木山、満観峰、入笠山、玄岳　報告＝猫越岳、鍋割山、東ブロ交流ハイク・徳倉山

「あさぎり」　あさぎり山の会　１２月号　NO.338　A4 判　p30　紙製本
報告＝東ブロ交流山行、天狗石山、笹山、獅子ヶ鼻、富士山自然休養林 G コース、蓼科山、天狗山ダイレクトルート登攀、瑞牆山、荒島岳、茅ヶ岳など

「くろゆり」　三島勤労者山岳会　2021/11/01　NO.502　P8　電子版
報告＝創立 50 周年を迎え、地域に根ざした記念山行で、コロナ禍でも出来る「狩野川分水嶺登山」を実施。1 回目は、一服峠～位牌岳を行った。

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　11 月号　NO.327　P12　電子版
報告＝鍋倉山、浦佐・高山「三十三観音」、巻機山。新人紹介、事務局だより

切り抜き帳

静岡新聞から転載

今年建て替えられた腰切塚展望台。富士山の眺望が楽しめる＝裾野市須山

富士山 大パノラマ

裾野・水ケ塚公園　展望台建て替え

裾野市須山の水ケ塚公園にある腰切塚展望台が今年建て替えられ、富士山の眺望を楽しめるスポットになっている。再建後初めての冬季を迎え、冠雪した霊峰を写真に収める人たちの姿が見られた。

標高約1490㍍に位置する展望台は老朽化や周囲の樹木の成長で視界が悪くなり、7月に規模を大きくして一新された。高さは4・5㍍から約7㍍に、面積も9平方㍍から18平方㍍と2倍になり、富士山から駿河湾まで見渡せる大パノラマをゆったりと楽しむことができる。管理する県観光政策課の担当者は「今後も展望台に案内板を設置したり、公園内の古い設備を改修したりして魅力向上に努めたい」と話す。

同公園にある複合観光施設「森の駅富士山」の広報担当中村州宏さん(46)は「これから富士山の最も美しい季節になる。抜群のロケーションの展望台を多くの人に知ってもらい、周辺の盛り上がりにつながれば」と期待した。（東部総局・山川侑哉）

浜松の山で遭難 8日後保護

静岡の71歳男性、けがなく

11/19

浜松市天竜区水窪町に10日から登山で入り遭難していた静岡市葵区西瀬名町の男性(71)が18日、8日ぶりに発見された。

天竜署によると、男性は同町の不動岳（2177㍍）を1人で登り、下山時に道に迷ったという。不動岳は山道が整備されていない登山上級者向けの山とされるが、男性は登山歴が長く、登頂経験も数回あったという。

男性は10日に「山登りに行く。1、2日で帰る」と家族に告げて自宅を出て以降、行方が分からなくなった。13日午後11時ごろ、家族が静岡中央署に届けた。

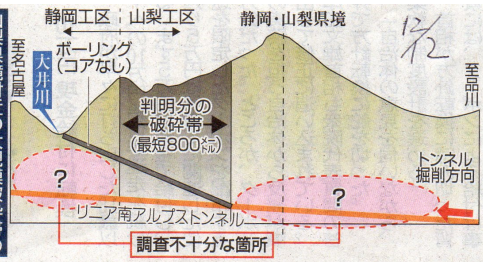
天竜署によると、男性は衛星利用測位システム（GPS）の履歴などから県警が捜索し、18日午前0時ごろに同署員が同町地頭方の登山ゲート付近で男性の車を発見。同午前10時ごろ、林業作業員に登山口付近まで下山していたところを発見された。

男性は発見時「下山時は別のルートで降りたが、道に迷ってさまよってしまった」と話していたという。

11/19

大井川とリニア

リニア中央新幹線南アルプストンネル工事は静岡県内の区間で県が本格着工を認めない中、JR東海は山梨県内の掘削を進めている。県境付近には大規模な破砕帯（岩石が砕かれ、水を含みやすい地質）があるとされるが、地質調査は不十分なままで破砕帯の幅は分かっていない。南アルプスの地質専門家や大井川の利水者は、山梨県内区間の掘削の影響が大井川流域に及ぶ可能性があるとして懸念している。



山梨県境付近の大規模破砕帯の断面図 ※JR東海の資料を基に作成

12/12

掘削進む山梨区間

県境の破砕帯 幅は不明

JRが示す県境付近の地下水位低下予測図では、県境から山梨側に約1㌔の場所から静岡側の大井川本流にかけて、掘削完了20年後に地下水位が100～300㍍以上低下する。しかし、県によると、東海道線丹那トンネルや新東名高速道路粟ケ岳トンネルなどの水枯れ事例を踏まえれば、数カ月単位で地下水位が低下し始めてもおかしくない。

■「調査の限界」

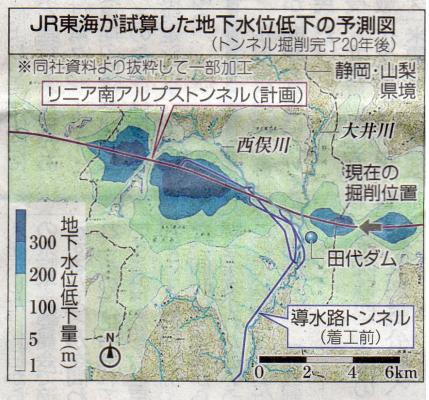
水位低下の要因は県境付近にある大規模破砕帯だ。JRは静岡側からのボーリング調査を根拠に破砕帯の幅は最短800㍍と説明する。一方、山梨側については「調査の限界で地質の確認はできていない。山梨側へ（岩石が砕かれた）破砕質な地質が連続している可能性は否定できない」（国土交通省専門家会議のJR資料）としている。

南アルプスの地質に詳しい狩野謙一静岡大防災総合センター客員教授（構造地質学）は「破砕帯が山梨県内まで続き、標高の高い大井川水系の水が掘削によって標高の低い山梨県のトンネル部分に流れる可能性は十分ある」と指摘する。

■水抜きが必要？

湧水を止めて山梨側に流さない方法はあるのか。JRの工事担当者は国交省専門家会議で「薬液注入（注入材で水を止める方法）による湧水の低減には限界がある。掘削を安全に進めるためにトンネル周辺の地下水、水圧を下げていく対策を取らざるを得ない場合も出てくる」と発言し、地下水を意図的に抜いて湧水の勢いをそぐ「水抜き」の必要性に触れた。

専門家「標高差で水流出も」



水抜きによって湧水の勢いが衰えるまで地下水位が低下し続ける可能性がある。県の担当者は「地下水の流れが地表とつながっていれば、大井川流域の水量に影響を与えかねない」と危惧する。

■データ開示を

JRによると、山梨側は県境から約2㌔まで掘削が進んでいる。金子慎社長は11月26日の記者会見で「県境までいくのか、もう少し余裕を持って（掘削停止を）決めるのかも含めて適切に判断する」と対応を説明。大井川流域の利水者は「大井川の水が流出するのなら、山梨県内の工事であっても中止してほしい」とJRに求めている。

狩野客員教授は、山梨県内の掘削の地質データを開示した上で、ボーリングや電気探査、弾性波探査などの地質調査を組み合わせて県境付近を調べるべきだと提案する。

（政治部・大橋弘典）

12/12

緊急報告・・・伊豆ハイクの件（会分割・県連退会の件）

東部ブロック長・大石芳子さんへ 12/11 鍋島さんより脱退届のメールが送られてきました。河合会長・鍋島事務局長との意思と臨時総会内容とに乖離（かいり）があるように感じ一寸違うように思われますが、以下大石さんからの電話を鑑み明日以下の対応を全国連盟と確認します。以下は福原組織部長、海野理事長、花澤事務局長へ返信・転送した内容です。

県連会長　竹本幸造

東部ブロック長・福原さんへ
本日、鍋島事務局長からのメールを見ました。
11/29 の臨時総会時でのやり取りとかどういう経過措置にするとかの内容が、立ち合いをして居たわけではないので文面からは分かりません。
しかし臨時総会後大石芳子前会長から労山に残りたいという会員も少なくても 35 名ほどはいるということは確かな様です。
しかしながら河合会長とか鍋島事務局長は労山から外れたいとの強い意向です。労山の仲間から外れたいといった方がいいのかもしれません。なので、あのような文面になっていると思います。
来週月曜日 13 日、仕事の合間をみて川嶋事務局長に退会、４月に残る会員の新たな会の名称として（河合さんや鍋島さんは自分たちの会の名前を騙り労山会員が残ることには大いに不満との考え方のようです）登録する方法でその時点での処理を全国連盟として留保するか、

他の方法（一年後に支払うか等です）等を決めてもらう事です。
県連としては会費の事もあるので、４月に登録した時点で復帰として扱う方法がいいとは思いますが。その場合基金の扱いは退会、再登録とかの扱いが可なのかも全国連盟に確認する必要があると思います。
明後日１３日電話確認します。
又は 13 日夜に三役＋専門委員会委員長でのや役選会議があるのでその時に確認してみます。

県連会長　竹本幸造

12/11 鍋島事務局長からのメッセージ
伊豆ハイキングクラブ登録について
大変お騒がせして申し訳けありません。
伊豆ハイキングクラブは 11 月 29 日の臨時総会に於いて、11 月末登録の来年度の登録人数は「０」とすることがきまりました。
したがって「０」でお願いいたします。労山の退会は今年度末（3/31）とします。
尚今後は「伊豆ハイク労山会員」として何人か知りませんが登録があると思います。
今後「伊豆ハイキングクラブ」ではなく「伊豆ハイク労山会員」として扱ってください。
さら労山本部に問い合わせた所担当の小池さんから、遭対基金の扱いは「伊豆ハイキングクラブ」の退会まで有効とのことです。

伊豆ハイク・事務局長　　鍋嶋　要

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・後藤
山行番	NO.1955
日　時	2021 年 11 月 13 日（土）晴れ
山　域	御坂・王岳と鍵坂峠中間ピーク吉沢山(1603m)・北尾根
コース	長泉 6:00-南一色（井上）6:10-十里木越前岳駐車場（加藤）-精進湖-芦川町鶯宿（おうやど）8:15-登り口まで軽トラで移動し立沢さんの丸太橋から登山開始-尾股山(・1020m)10:06-・1247 峰-・1372m 峰-吉沢山(1603m)昼食休憩 13:25～13:57 下山開始-鍵掛峠 14:33-出発地 14:33-長泉（満貫・反省会）（片道＝約 85km）
標高差	上り・下り　登山口約 620m～吉沢山 1603m＝約 983m（累計 1100m）
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　レ困難　やや困難　普通　やや易しい　易しい
最初の「俺の橋」がその後の大冒険を物語っていた	
参加者	後藤、加藤、星、勝又、井上＝5 名

（久しぶりに足が揃ったメンバー。御坂山塊に残された北面の一大バリエーションを実行。過去の記録では、いわゆる「キレット」から退却している。今回は、「キレット」から、標高差 300mがポイントだった）

（精進湖から R358 を下り、芦川村・鶯宿（おうやど）集落手前の鶯宿入沢を少し偵察し、戻り、三角点 623.3m付近の古い橋を渡ろうとした。Kが偵察したが中々厳しそう）

古い橋

立沢さん

まずは、道路に平行に流れる芦川を渡り、向こう側の尾根にとりつかなければいけない。当初渡る予定の橋はところどころ穴が開いており、渡れるかどうか怪しいが、とりあえず車を停められる場所で駐車し準備を始めた。

すると、犬を乗せた 1 台の軽トラックが近づき、おじさんが声をかけてきた。芦川を渡って向こう側の山を登ることを伝えると、予定していた橋は危なくて使えないから 100m くらい下ったところの「俺の橋」を使えばよい、と言ってくれた。5 人全員が軽トラの荷台に乗って送ってもらうこ

とになった。走り出すと風がものすごく冷たかった。

川に下りてみると、「俺の橋」は頼りなげな丸木が 3 本並んでいて、手前は木の太い方が 3 本並び、奥に行くに従い 3 本とも細くなっていく。1 本くらい逆にすればもう少し安定しそうなものだが、スパイク付き地下足袋のおじさんには関係なくひょいひょいと渡った。登山靴の固い底は丸木になじまず実に不安定。こわごわと両手を広げてバランスを取り、一歩一歩心をおだやかに心掛けて、決して心を乱さないようになんとか渡った。何という怖い体験。この後に起こる冒険が、すでにここで暗示されていたことを知るのはもう少し後のことだった。

恐怖の丸木橋

おじさんの名前は立沢良直さん。80 歳。甲府に自宅を持ち奥さんと住んでいる。山仕事の時は芦川町の家に来るとのこと。私たちが最初にとりつき登ろうとしていた尾股山だが、ここが立沢さんの山なのか、自分の山の木の枝打ちに来たとのこと。

後藤さんの知人、芦安の清水氏を知っていてご縁を感じた。犬の名前はダイちゃん。おとなしく人なつっこい。いつも山では一人なので、大勢と山に登れることが楽しいということで一緒に登ることになった。（後日、確認したら清水氏は、立沢さんは「知らない」だった）

川を渡り、登り始めるといきなりの急登。先頭は立沢さんと犬のダイ。立沢さんは木の枝のダブルストックで、おそらく立沢さんの専用の道だろうと思われる道を登っていく。一応、道になっているのでそれほど苦労はない。ただ壁のように急である。ダイも難なく登っていくが、石を落とす

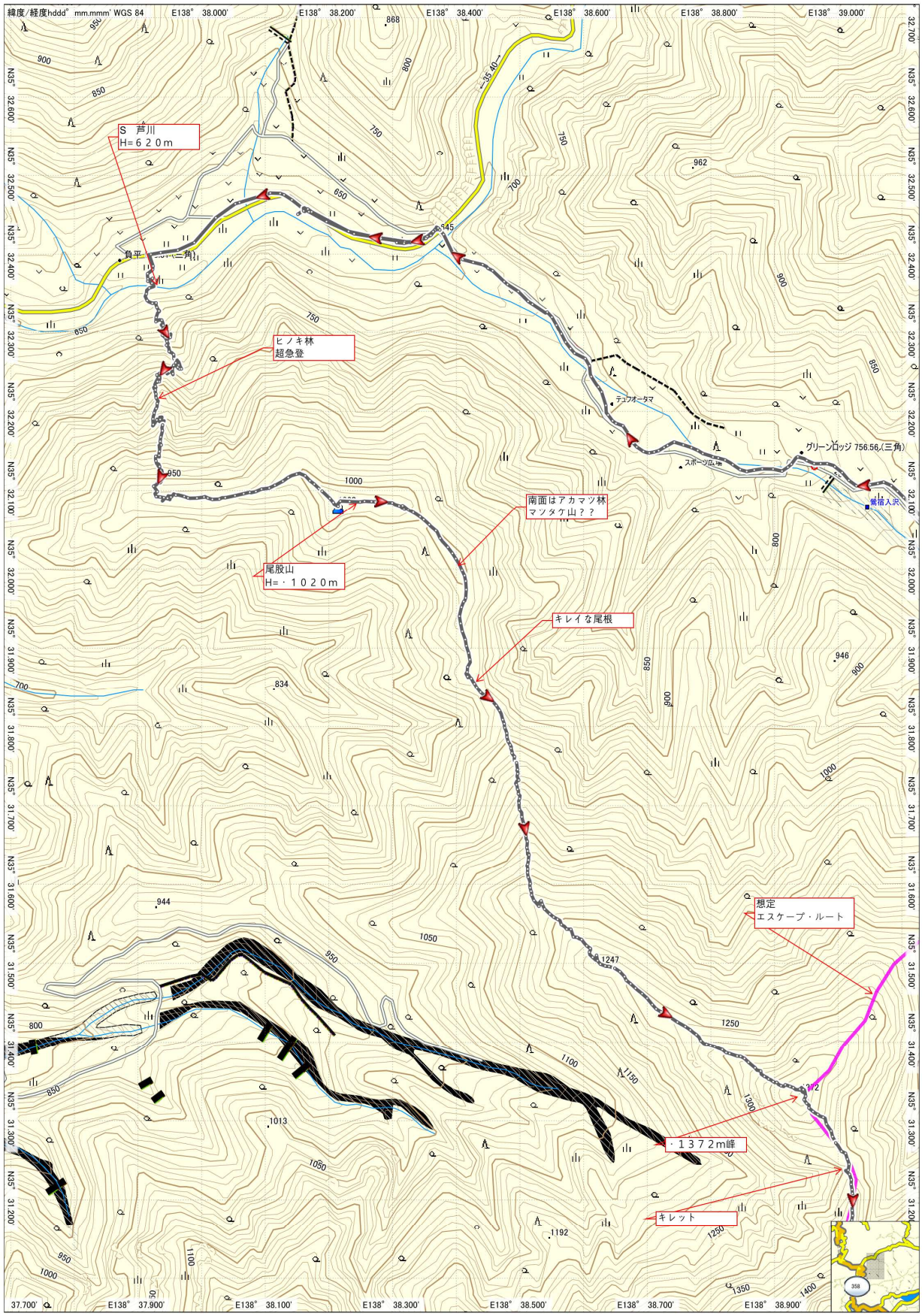
立沢さんとダイちゃん

急登

チエーン・アイゼン

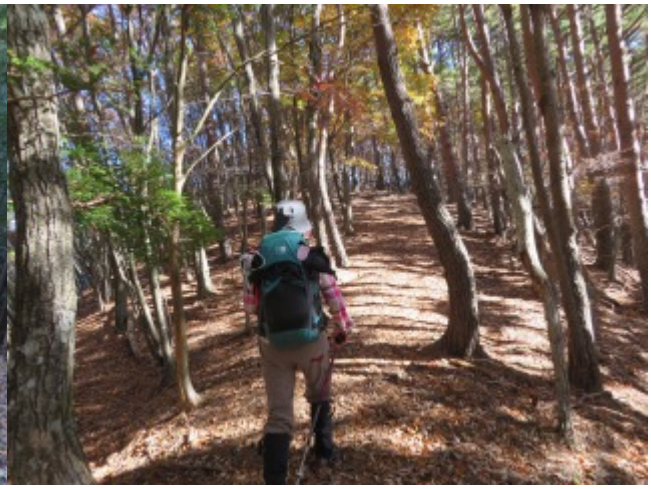
ので危なかった。あまりの急な角度のため、後藤さんはチェーン・アイゼンを着けた。（夏山でアイゼンとは？！だが、近年、厳しい沢などでは使用が報告されている。ストックのゴム・カバーなしと同じで「山を傷つける」の意見もある。ただ、何処でも使う訳ではない。使用は初めて。「極めて困難な場所」使用が条件だろう）

　その後、立沢さんはいつもの休憩場所なのか木の根元に座り一服している横を通過し、私たちが先行した。立沢さんとダイはこの後、私たちの後ろから登ってきていたが、いつのころからか姿は見えなかったので、引き返したか、仕事に入ったかだろう。


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
S 芦川
H=６２０ｍ
負平
ヒノキ林
超急登
尾股山
H=・１０２０ｍ
南面はアカマツ林
マツタケ山？？
キレイな尾根
想定
エスケープ・ルート
・１３７２ｍ峰
キレット
グリーンロッジ 756.56(三角)
Japan Topo 10M Plus V3
2021/11/14 9:44:50
GARMIN

（立沢さんは、この山に中学時代から来ていた。この急傾斜地に植林をしたという。６貫の苗木を背負った。北面で成長が遅い。伐採するまで８０年かかる。現在、４０年だから、あと４０年という。現在、８０歳では存命中の伐採は難しいかも）

（ヒノキの植林地は、根っこの部分が曲がったのが多い。昔は、静岡の「下駄屋」が、曲がった部分を欲しがり、買いに来たとそうだ）



厳しい山

尾俣山（２万５千図は、尾股山表記）

キレット

スタートの芦川は標高 620m。尾股山 1020m10:06 着。（２万５千図で尾股山の山名表示板は、何故か、「尾俣山」になっていた。この辺りの南面は、アカマツが多かった。林床がキレイなので、マツタケ山？）

標高差 400m を軽トラでの移動や丸木橋渡りも含めて 1 時間 51 分。ここからは尾根はゆるやかで、左手の紅葉を楽しんだ。970m まで下り、・1247m まで登る。岩場あり。・1372m まで+125m。足元の土に霜柱が見える。

（1372ｍを下ると「キレット」と呼ばれる所に達した。大きなものでなく通過は問題なかった。ある記録では、この上の急斜面に入ると退路がないと、ここで撤退している）

そして 1305m まで下る。ここから 1603m の吉沢山まで 295m 登る。まあ、道らしきものはない。赤テープもなし。ひたすら急登を我慢して登る。吉沢山手前で、岩場がありザイルを 2 か所設置した。加藤さんが先頭でルートを見つけ、ザイルを木に結び、途中に何か所かのこぶを作りすべり止めとする。順番待ちの間もバランスを崩すと真っ逆さまに落ちるので気が抜けない。最後に私がザイルを回収して登った。

王岳と鍵掛峠の間にある吉沢山の稜線に上がると、山梨側の雪をかぶった富士山のお目見えだ。雲のない青空にふもとの湖までバッチリ見える。大パノラマだ。ここでちょっと遅い昼ごはん休憩。岩場の緊張とアップダウンで体力は消耗していた。

メンバー全員で難局を乗り越えた一体感が気持ちよい。心細い丸木橋に始まり、ザイルを使っての岩場の通過など、かなりの冒険をしてきたことが嘘のように思える、おだやかな富士山の景色だ。座った場所に一輪だけトリカブトが咲いていた。

下山開始。右手に富士山を眺めながら安全な一般道を歩く。時折、上りがあると太ももの疲れを感じ、脚が重い。鍵掛峠で左に折れて下る。落ち葉が積もり、落ち葉ラッセルをして歩く。落ち葉の下にある岩は見えないので、時折滑る。

日が暮れるまでに下山を終わりたい。徐々に暗くなるが、なんとか日暮れ前までには里に下りた。たまたま通った農家のトラックに、先行する後藤さんと加藤さんは荷台に乗せてもらい、車を停めているところまで行って車を取り、遅れている 3 人を回収に来てくれた。

2 万 5 千図の単純なアップダウンの累計では標高差は 1100m だが、勝又さんのスマホアプリでは細かい登りも拾うのだと思うが累計 1200m だったと長泉に到着後の反省会で聞いた。しんどいはずだ。この記録を書いている 3 日後の今もふくらはぎの筋肉痛が残っている。

以上

その他の記述（後藤）

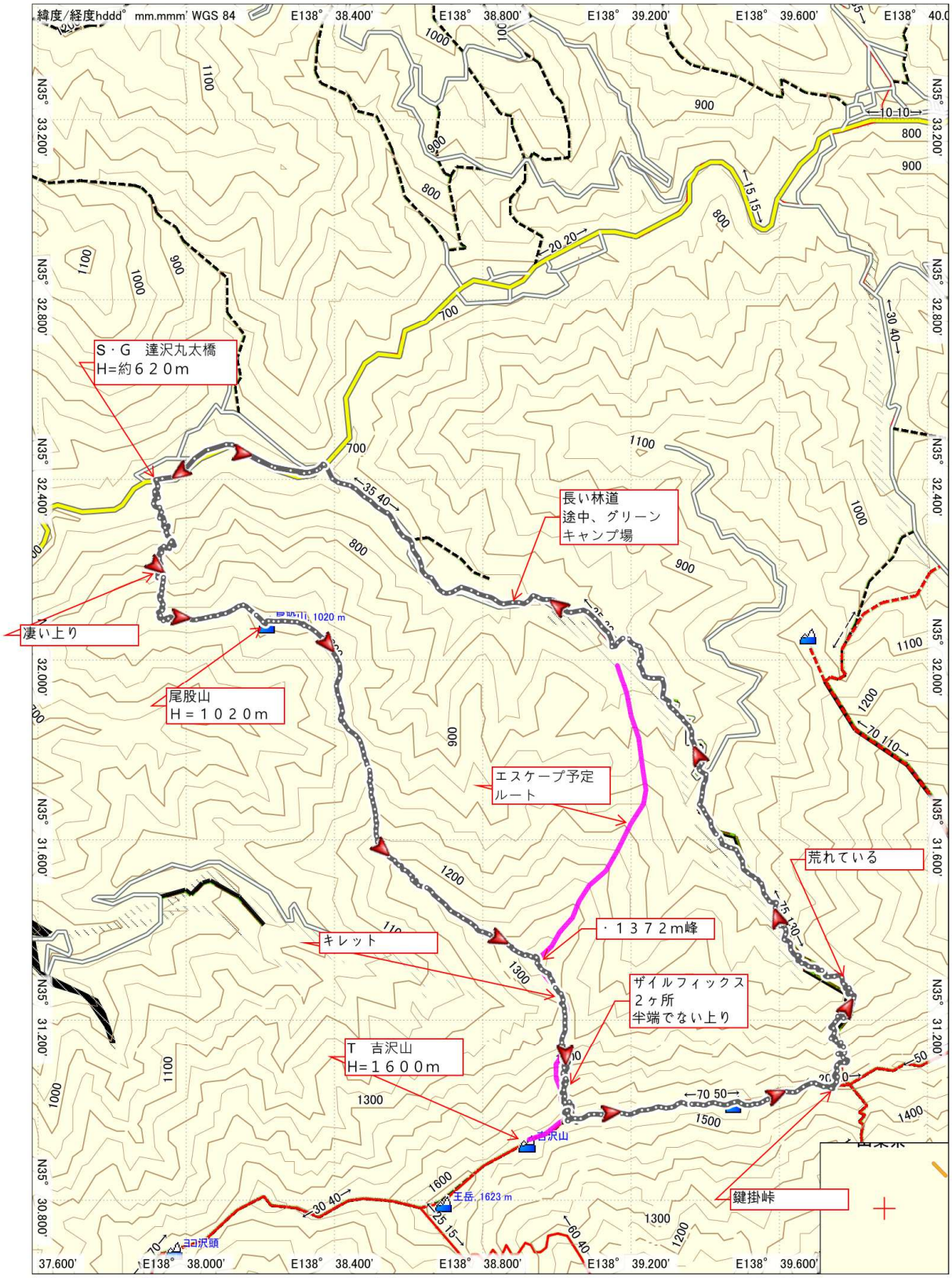
１．文中、（　　）部分は、後藤が記録。

２．全員ヘルメットを持参したが、使用しなかったのは、私のミス。下山時も必要だった。

３．立沢さんのアドレスをネットで調べたら、住所・電話番号が出ていた。

４．グリーンロッジ下で、農作業を終えた夫婦の軽トラに乗せて貰った。野菜の収穫に行ってきたようだ。狭い村なので立沢さんの事は知っていた。「そう言えば、朝、軽トラックが置いてあった」と話していた。

５．下山後、２～３日、疲労感・倦怠感が酷かった。


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
S・G　達沢丸太橋
H=約６２０ｍ
長い林道
途中、グリーン
キャンプ場
凄い上り
尾股山
Ｈ＝１０２０ｍ
エスケープ予定
ルート
荒れている
キレット
・１３７２ｍ峰
ザイルフィックス
２ヶ所
半端でない上り
T　吉沢山
H=１６００ｍ
鍵掛峠
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2021/11/14 9:44:50
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・勝又　　写真・勝又、後藤
山行番	ＮＯ．１９５７
日　時	２０２１年１１月２８日（快晴）
山　域	天城・登り尾（１０５６．８ｍ）
コース	長泉７：００ー天城・道の駅ー寒天橋発８：１０ー鍋失トンネル南・登山口ー登り尾 １１：３５～１２：２０ー寒天橋１３：３６～バス１４：３１ー道の駅ー長泉
標高差	上り　鍋失トンネル南登山口約４０９ｍ～登り尾１０５７ｍ＝約６４８ｍ 下り　登り尾１０５７ｍ～寒天橋バス停約６４０ｍ＝約４１７ｍ
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
たまにはノンビリ・ハイキング	
参加者	加藤、星、勝又、井上、後藤（標高約８００ｍで下山）

今回の山行は当初、箱根-神山へのハイキングを計画していましたが、
箱根は警戒レベル１にもかかわらず神山、駒ヶ岳周辺のハイキングコースは通行禁止のため天城の登り尾(1056.8m)に変更になりました。登り尾は初めての山のため楽しみでした。

寒天橋

下土狩を出発し途中、天城昭和の森会館の道の駅でＨさんと合流し旧道の寒天橋(645m)の脇に駐車し８時１０分、登り尾登山口に向けて出発。

旧道を下り途中から鍋失トンネルができる前に通っていたと思われる旧道跡沿いに進みながら尾根にとりつける場所を探しながら行くが、山肌はすべてコンクリートを吹き付けてあり登れるようなところはなく結局、トンネルの出口まで行き登山口まで下ることになった。

旧林道

林道わきの登山口（408.9m）に着いたがとりつく場所がはっきりせず林道の入口付近から上り始めると木に赤と白のペイントの目印があり、それを目印にほぼ林道に沿って登ることができた。

途中から急登になり今日もやっぱり急登かななどと、みんなでブツブツ言いながら登っているとリーダーG の携帯に連絡が入り奥さんの具合があまりよくないとのことで急きょ帰宅することになり、皆心配したが残りの５人で頂上を目指すことになった。

鍋失トンネル南

女性の K さんも足の調子など最近、体調が思わしくないところもありゆっくりと頂上を目指し、１１路３５分無事、山頂に到着。

東側がひらけていれば海が見渡たせていいと思ったが山頂は木々に囲まれ展望は全くなし、非常に残念でした。一杯やりながら雑談し休憩の後、帰途に、帰りは比較的ゆるやかな傾斜でのぼりにくらべ歩き易くて楽でした。

寒天歩道にでてからは舗装路を順調に下り無事寒天橋着。リーダーが車で帰ってしまったため此処から道の駅までバスで向かいそこからＨさんの車で送ってもらうことになっていたのでバスの時刻を確認すると１４時３１分でまだ１時間近くあるため日の当たる場所でバスを待つことに。

残り紅葉

Ｉさんがビールをまだ持っていたため少し分けてもらいチビチビやつているとバスが登ってきたが、バスは終点の八丁池口まで行き戻ってくる為あと少し待つことに。

八丁池・青スズ台方面からの登山客少ないだろうと思っていたがそれでもバスには１０人ほどの乗客がいて意外でしたがそういえばバスの時刻表に、このバスが今年最後バスで来年の４月まで運行がないと記載れていたのを思い出して納得しました。

道の駅まで行き、道も混んでいたにもかかわらずわざわざおくってもらいＨさんには大変お世話になりました。皆さん、大変お疲れさまでした。

景観が悪かったのと紅葉はもう終わっていたのは残念でした。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番	ＮＯ．１９５８
日　時	２０２１年１２月０４日（土）快晴
山　域	富士山・村山古道（中間部）
コース	長泉６：００ー周遊道発７：３８ー五合目への周遊道８：３２ー御殿庭分岐８：４８ー石仏場９：２０ー日沢を渡る９：４８ー第二火口分岐１０：５０ー新六合・雲海荘（昼食）１１：２９～１２：１１ー宝永山分岐１２：２５ー２３５２ｍ峰ー御殿庭上ー赤岩下沢（仮称）ーー般道１３：３７ー須山登山口１４：４６ーＧ宅直会ー長泉
標高差	上り　周遊道・村山古道登山口約 1350m～新六合・雲海荘約 2500m＝約１１５０ｍ 下り　新六合・雲海荘約２５００ｍ～須山登山道約１３６０ｍ＝約１１４０ｍ
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
富士山逍遥	
参加者	後藤・加藤、星、井上、合谷＝５名

当初、計画は「ガラン沢」だった。ただ、これは私の勘違い・間違いで、正しくは「村山古道」だった。本来「村山古道」は、海抜０ｍの田子の浦から始まる。今回は、周遊道の標高約１３５０ｍから新六合・雲海荘までのコース。

駐車場

登山口

駐車場は、登山口少し上に広場があった。少し下って立派な看板から上る。キレイな登山道が伸びていた。天気は無風快晴。良く冷えた朝。樹木の葉は全て落ち、冬枯れの山が寒々しい。梢の向こうに、真っ白な富士山があった。同行者が何故か「米山古道・米山古道」と五月蠅い。もう少し勉強して貰いたい。

小一時間で五合目に繋がる周遊道を横断。周遊道は既に通行止めなので行き交う車はない。ひと上りで御殿庭分岐。東に向かえば、ガラン沢ルートと合流し、更に上れば須山道に出て、御殿庭に行ける。

小休憩し空腹を満たす。同行者提供の「サンドイッチ」が美味い。聞けば、一枚＝１００－の具材（ハム）を使っているという。

素晴らしい景観

３０分程上ると、ちょっとした広場があり石仏が並んでいた。五体満足は一体だけ。２～３体は首が無かった。あちこちで首のない石仏を見るが、一説には明治の「廃仏毀釈」で首を刎ねられたという。

石仏

満足の一体は、新しい感じだったので、当時のモノではなさそう。だけど、何時ごろのものが、文字の判読は難しかった。

道はこの先で「日沢」を渡った。「日沢」は、我々が春、スキーで滑降する沢。今年も５月１５日滑った。今日、一緒のＫ，Ｉも一緒に滑っている。ところが、二人は「日沢」が何たるものか全く認識が無かった。勉強不足・学習不足もいいところ。情けない。

http://susono-reihou.babyblue.jp/000-61.pdf

日沢を渡るところ

何故か「ヤカン」があった

日沢を渡る。ここまでの村山古道の印象は、見晴らし、展望が良くないだった。登山道が日沢沿いで尾根でない。谷なので、当然、日当たりが悪く展望はない。

渡った上に少し平の部分があった。何故か古ぼけた「ヤカン」が転がっていた。ダケカンバに赤いテープが貼ってあり、「一ノ木戸・２１７５ｍ」とあった。この「一ノ木戸」とは、

・・・一の木戸跡、村山古道 2150m（看板は２１７５ｍ記入）の場所にあります。人工的な平地は倒木が倒れ込んでいますが、かなりの広さがあります。江戸時代の紀行文によると、ここに小屋があり古い草鞋を捨てて新しい草鞋に変える場所であって、門の中には役の行者堂があり、村山より役人が出張って「山役銭」を取っていたそう。またここに御室大日というお堂もあり、大日如来と役の行者像が安置されていたそうです。

近年になっては、ここにハマナシ（コケモモの実）を採る人の小屋があったようで、その頃のものでしょうか？古いヤカンや茶碗の欠片が落ちています。また、冠松次郎の紀行文の中に、一の木戸から須山口へ向かったと思わせる箇所があります。（資料提供：畠掘先生）・・・ネット

・・「山役銭（やまやくせん）」とは、

富士講が盛んだった江戸時代にも「山役銭（やまやくせん）」という料金を登山者から得る制度があった。江戸時代の文書をひもとくと、山役銭は富士山の各登山道で徴収し、吉田口の金額は１２２文。内訳と取り分は細かく定められ、（１）身を清めるためのおはらい料３２文（御師）、５合目山小屋の休息料３２文（山小屋１６文、御師１６文）山頂の仏像のさい銭料２０文（富士山本宮浅間大社１４文、御師６文）ーなどとされた。

富士講の受け入れを長く支えた山役銭だが、明治時代の廃仏毀釈（きしゃく）により、さい銭料

など徴収の名目となっていた仏像がなくなるなどし、徴収されなくなった。
・・・ネット（江戸時代１文＝1 文＝32.5 円くらい。そう考えると、１２２文は高い！！）

・・・一の木戸、即ち村山口の一合目についた。そこには大きな小屋の倒壊したまゝ残つてゐる。茶碗のかけらなどが散乱して、木で出来たタンクがひっくり返ってゐる。これはハマナシ小屋と云うので、すぐ向ふの須山口の御庭〔御殿庭〕に、沢山なるハマナシ（コケモモ）をとる人が来て泊った小屋である。・・・（略）
　私等のこの行は、廃れた村山口を一合まで上つて、それから宝永山に向つて須山口の御庭へ廻り、須山口の計画路を下る予定である為に、頂上に向はずに、沢を横ぎり、尾根を巻いて御庭に向つたのである。「富士の古道を行くー村山道と須山道」『富士山の旅』冠松次郎　1949　富士箱根厚生文化協会）・・・ネット

左に宝永山、右下に２３５２ｍ峰

　一ノ木戸を後にする。少し開けた場所に出た。駿河湾が一望できた。海がまるで雲海のように広がっていた。珍しい光景だった。上は更に展望が開け右に宝永山、その下に２３５２ｍ峰が見えた。
　宝永山第二火口に向かう分岐に出た。ここで止めたい誘惑に駆られる。時間は１１時を回り空腹が酷かった。足も重かった。ただ、ここで止めるのは如何せん切れが悪い。標高は約２３６０ｍ。新六合まで、あと約１４０ｍ。兎に角、頑張る。

分岐から道は素晴らしかった。ダケカンバが広がり、足元にはコケモモが繁茂していた。同行者がこの夏、採取に来たという。物凄く収穫出来たという。ＧＹは、それでジャムを作った。大変、美味しかったと聞いた。

漸く新六合着。小屋の一角にドカッと座り、兎に角、空腹を満たす。こんな空腹は近頃珍しい。好天で風がなく、小屋のトタンに寄りかかっていると背中が温かくシアワセだった。

昼食

片手ヨーカン

第二火口

御殿庭上

剥がれたビムラム

宝永山分岐

　ビアを「爛ビア」にしていただく。美味しかった。昼食は豪勢だった。山はやっぱり食事が一番だ。片手で開けれる面白い、ひとくちヨーカンを貰った。それにしても今日は誰も会わない。まこの時期、ここに居るのは変人・奇人か？？！！

　ＧＹがＩの靴を見て「開いている、開いている」叫ぶ。何のことかと思ったら革靴の先のビムラムが剥がれ、パックリ口を開けていた。一回、張替は出したようだが、それ程、古い感じはしない。そんなものかも。テープで応急処置を施した。

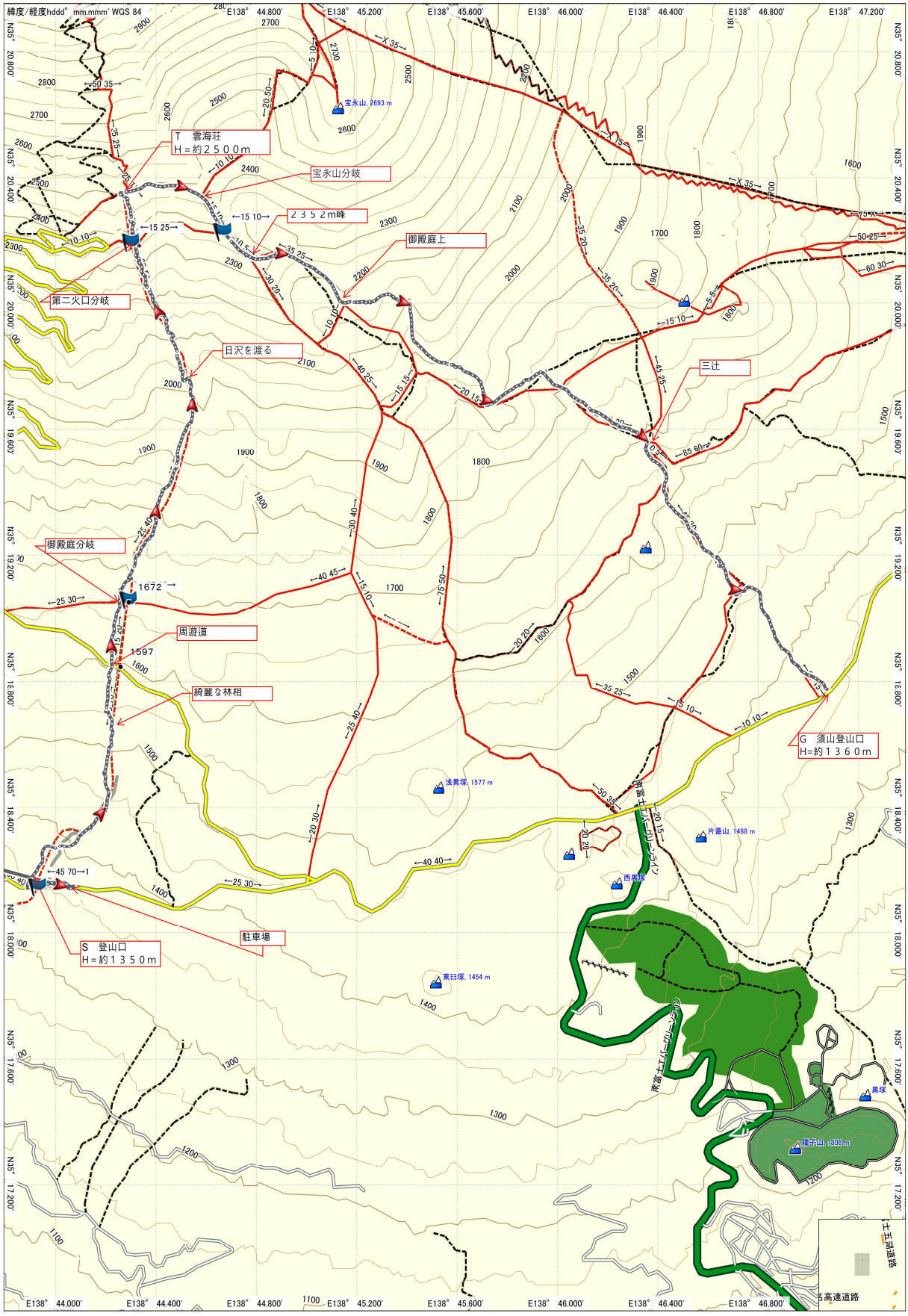
登山靴は、山が終わって洗う時、特に靴底の点検が必要。ビムラムは、剥がれだすと急速に進行するからだ。

　宝永山分岐に来た。空気が澄み、山がサイコーにキレイだった。蒼穹・雲・雪・赤い宝永山のコントラストが見事だった。ザックザック、快適に下る。俯瞰すれば、宝永山の礫と宝永第二火口の礫の色の違いが一目瞭然だった。色の違いは、噴火の時代の違いだった。

　御殿庭上から一般道でなく、赤岩下を目指して下る。たまにはバリもイイ。幕岩から須山道を下って終了。今回も充実した山だった。

　久しぶりにＧＹ宅で直会。今回は寒いのでガレージでなく室内。ＧＹ手製の「Ｇビア」が逸品だった。

（了）


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
T　雲海荘
H＝約２５００ｍ
宝永山分岐
２３５２ｍ峰
御殿庭上
第二火口分岐
日沢を渡る
三辻
御殿庭分岐
周遊道
綺麗な林相
G　須山登山口
H=約１３６０ｍ
S　登山口
H＝約１３５０ｍ
駐車場
宝永山, 2693 m
浅黄塚, 1577 m
片蓋山, 1488 m
西黒塚
東臼塚, 1454 m
黒塚
富士スバルラインライン
富士スバルラインライン
十王道道路
高速道路
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2021/12/05 10:33:10
GARMIN.

２０２１・忘年山行　　２０２１/１２/１１　　富士山・二ッ塚～Ｇベース　　６名

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２７期・１０巻　　２０２２・１月号　　NO.２４５
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

富士山・二ッ塚